

公益社団法人新潟県栄養士会
平成 23 年度生涯学習研修会のお知らせ

1. 生涯学習とは

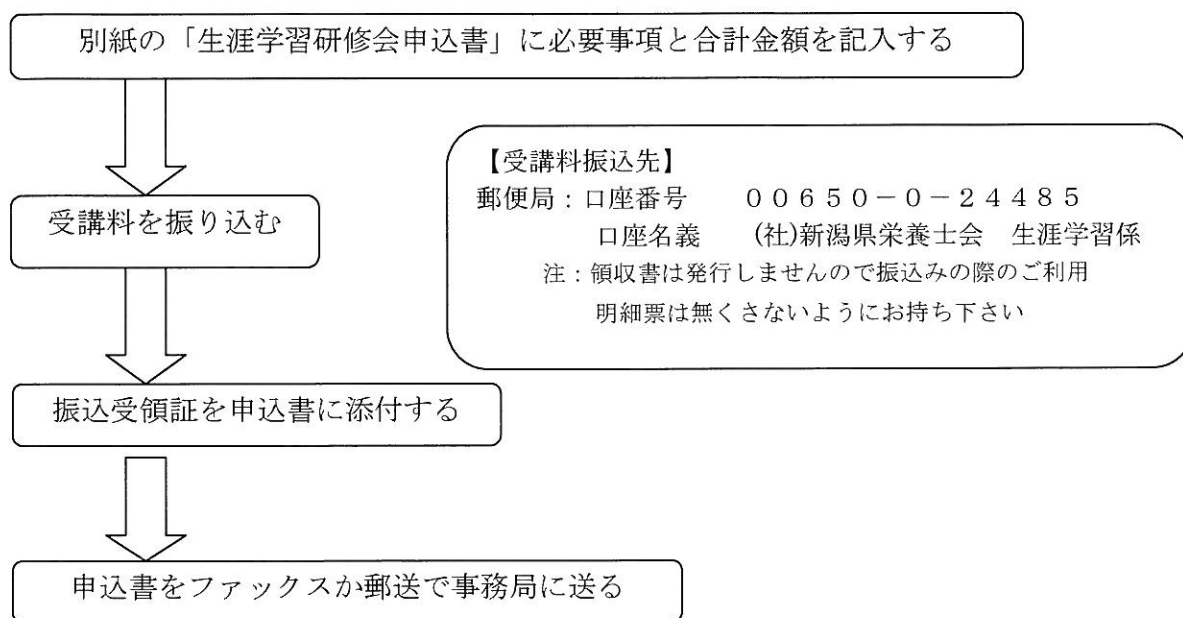
最新の学術と技術をもって食と栄養の指導を行うための卒後教育カリキュラムです。
時代の変化に対応しうる食と健康の専門職として活動するために積極的に受講して下さい。

2. 受講申込み

(1) 申込み期間

本文書到着日から平成 23 年 6 月 20 日(月)まで

(2) 申込み方法



〒951-8052 新潟市中央区下大川前4ノ町 2230 番地
エスカイア大川前プラザ108号
公益社団法人 新潟県栄養士会 事務局生涯学習 宛
FAX：025-224-0510

(3) その他

- ◆ 新規受講者で、生涯学習記録票(1,000円)がない人は記録票を購入する
- ◆ 研修初日の生涯学習オリエンテーションは、必ず受講してください。
- ◆ 申込書を提出した後の、追加、キャンセル及び受講料金の返金は原則として認めませんのでご了承ください。
- ◆ 振込手数料は各自でご負担下さい。
- ◆ 研修会場(新潟ユニゾンプラザ)は、駐車場 210 台は無料ですが、催物が重なり満車で駐車できなくなる場合もありますので、できるだけ公共交通機関のご利用をお願いします。
- ◆ 昼食は各自でご用意ください。
- ◆ 定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ◆ 会員外の方は別の申込書がありますので事務局までご連絡ください。

平成23年度生涯学習実施内容

新潟県栄養士会

期 日	科目番号	時 間	単 位	科 目	講 師
平成23年 7月2日 (土)	A	10:00～11:30	1	オリエンテーション	生涯学習委員会委員長 太田 優子
				資格取得がゴールではありません。 目標をもって生涯学習を受講していただく為、参加の意義をお伝えします。	
	B	12:30～15:45	2	わかり易い生化学 (生化学を教材化したらどうなる?)	川崎医療福祉大学教授 小野 章史
				食生活指導をするためには、まず臨床栄養学・生化学の知識をきちんと身につけておく必要があること、また、それこそが栄養士の強みです。基礎から改めて学ぶことが必要と考え、現場ですぐに役立つ内容を盛り込んで講演していただきます。	
9月3日 (土)	C	10:00～11:30	1	トピックス 職業倫理について	日本栄養士会監事 早野 貴文
				日本栄養士会雑誌2010年6月号に「専門職としての倫理と責任」というテーマで寄稿された、日本栄養士会監事で弁護士の早野先生に、今、求められている職業倫理の重要性について、ご講演いただきます。	
	D	12:30～15:45	1	健康教育の理論と実際 (仮題)	群馬大学医学部教授 吉田 亨
				日本健康教育学会等で要職にあられ、健康教育に携わる様々な職業人に大学院で研究指導をされている吉田先生のご講演です。健康教育の理論体系をもとに実践活動につなげていく手法について、わかりやすくご教示させていただきます。	
10月8日 (土)	E	10:00～11:30	1	栄養ケアプランの実際	神奈川県立保健福祉大学教授 杉山みち子
				「高齢者の栄養管理サービスに関する研究」に携われ、介護保険制度の改正に尽力された杉山先生のご講演です。「栄養ケアマネジメント」の質の向上をめざす、栄養アセスメントに基づいた栄養ケアプランの実際について、理論に裏づけされた興味深い実践事例をご紹介します。	
	F	12:30～15:45	必須 1	栄養アセスメントの実際 (事例発表)	福祉栄養士協議会 病院栄養士協議会

[*必須単位とは]

統一テーマ「管理栄養士・栄養士業務を考える」のもとで行われる、シンポジウム形式による参加型の研修会であること。次の7つのテーマを必ず受講しなければ修了することができません。

<必須科目の7つのテーマ>

- (1) 他の職域の栄養士活動への理解を深めよう。
- (2) 関連職種への理解と連携について
- (3) ヘルスプロモーションを考える
- (4) 栄養管理業務と給食管理業務の両立について
- (5) 栄養アセスメントに基づいた栄養ケアプランを実施して
- (6) トピックス1
- (7) トピックス2

※ トピックスは各都道府県栄養士会が独自にテーマを設定します。

※ 2サイクル目以降はトピックスの1つをレポート提出または研修会等での発表とします。

平成23年度生涯学習実施内容

新潟県栄養士会

期 日	科目番号	時 間	単 位	科 目	講 師
平成23年 11月5日 (土)	G	10:00～11:30	1	栄養教育における心理的アプローチ (理論編)	跡見学園女子大学教授 松寄 くみ子
				あなたは、対象者の心に寄りそった指導を行っていますか？臨床心理士の立場で、小児アレルギー疾患への支援を携わられてきた松寄先生から、指導・支援場面における心理的なアプローチの理論と実践について、ご教示いただきます。	
	H	12:30～14:00	2	栄養教育における心理的アプローチ (実践編)	同上
		14:15～15:45		特定保健指導の取組み事例 (事例発表)	(交渉中)
12月3日 (土)	I	10:00～11:30	1	子どもの食と健康 (仮題)	京都大学 大学院教授 伏木 亨
				「食品のおいしさのメカニズム」「自律神経と食品の関係」など、栄養化学を専門に幅広い研究を展開されてこられた伏木先生から、未来ある子どもたちの食と健康に焦点を当てた、ご講演をしていただきます。	
	J	12:30～14:00	必須 1	スポーツ栄養の理論と実際 (仮題)	高崎健康福祉大学教授 木村 典代
管理栄養士・公認スポーツ栄養士として、「スポーツ食育プログラム開発に関する調査研究」に携わられている木村先生のご講演です。スポーツ栄養の理論をもとに、「運動指導に生かす食育の視点」から、興味深い実践事例をご紹介します。					
K	14:15～15:45		スポーツ栄養の取組み (事例発表)	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター 新潟スポーツ栄養サポートグループ (交渉中)	

[*選択単位とは]

従来から、生涯学習研修会として、日本栄養士会および各都道府県栄養士会において、企画運営している研修会である。当分の間、管理栄養士養成施設新カリキュラムに対応した栄養士活動に重要と考えられる項目を含む予定。

[*振替認定単位とは]

日本栄養士会が開催する研修会や都道府県栄養士会が開催する学会・研修会等への参加により、振替認定単位を取得できる。

この場合、単位認定手数料（1単位200円）が必要